

滝山だより

よみがえる滝山城

NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会
会報 第11号 平成26年5月1日発行

平成26年1月～3月度の活動

1. 定例活動(滝山城跡の遺構の景観回復と景観維持活動)

日付	時間	実施場所
1/19 (日)	9:30～15:00	小宮曲輪南・竹林
2/16 (日)	雪のため活動順延、振替日の3月2日(日)も残雪のため活動は中止になりました。	
3/16 (日)	9:30～15:00	見学路整備、山の神曲輪整備

1月19日(日)の定例活動より、小宮曲輪南・竹林を新たな活動場所として作業を開始しました。



1/19 加住市民センター裏手に密生する篠竹の刈払い作業を開始しました



1/19 小宮曲輪南馬出から南へ下る斜面の灌木などの伐採を開始しました



1/19 作業後は斜面の地形が明確になりました



3/16 山の神曲輪の見学路整備



3/16 山の神曲輪の見学路整備



3/16 山の神曲輪の作業を終えて休憩

2. 滝山城跡見学会と滝山城跡ボランティア・ガイド

日付	内容	主催または依頼者	参加者
3/30(日)	滝山城跡・サクラと城あと見学会	NPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会	16名

「滝山城跡・サクラと城あと見学会」は降雨の天気予報にもかかわらず 16名の参加者がありました。

天候を考慮し、道の駅ハ王子滝山第2駐車場から滝山城址下バス停近くまで全員車両で移動、午前中に雨が降り始めたため、尾熊副理事長の配慮で中の丸跡の建物の鍵を開けていただき、昼食休憩と中田理事からの解説をしていただくことができ、見学会終了後の参加者からのアンケートも高評価をいただきました。



3. 城郭学習会

第3回城郭学習会は、平成25年2月2日（日）に会員等 21名が参加し、マイクロバスで小田原城と石垣山城を見学しました。

（1）小田原城（小田原市）

小田原城は、NPO法人小田原ガイド協会の杉山虔一さんのガイドで、八幡山古郭（小峰御鐘ノ台大堀切、総構、本曲輪など）と小田原城、そして当日特別公開されていた元蔵発掘調査現場を見学しました。

元蔵発掘調査現場は発掘された深い空堀や堀障子に会員の関心が高く、解説していただいた小田原市文化財課の職員の方への質問が相次いで、予定時間を大きく超過してしまいました。



小峰御鐘ノ台大堀切は、八幡山古郭の弱点である箱根塔の峯から下る尾根筋を3本の連続した堀切（西堀・中堀・東堀）で分断しています
東堀は往時の遺構をよく残しています



会員が上って見学しているのは東堀と中堀の間の大馬出は、3本の大堀切と馬出を組み合わせることで強力な防御力が備わります
北条氏の築城技術をうかがうことができます



小田原城内にある御用米曲輪では、石垣で囲まれた池跡と木船が発見されています



八幡山古郭から小田原駅方面に下る階段は竪堀跡を利用しています



元蔵堀第I地点の発掘現場



雨の中を親切にガイドしていただいた小田原ガイド協会の杉山さん



JR小田原駅近くの元蔵堀第II地点で検出された空堀と「田の字」状の堀障子。空堀の幅は10.5m、深さは6.8~8.6mで、その迫力に圧倒されます

（2）石垣山城（小田原市）

小田原城を見下ろす笠懸山に城を築くことを決めた秀吉は、わずか83日で関東初の総石垣の城を密かに築城、完成した城の周囲の樹木を一斉に切り倒して、一夜の内に城ができたように見せたと伝わります。

小田原城に籠城する北条氏はこの城の出現により降伏を決め、秀吉の全国統一が完成しました。

この日は、あいにくの雨で視界が利かず、残念ながら小田原城を見ることはできませんでした。



石垣山城大手口での中田理事の解説



天守台跡



本丸の石垣を背景に集合写真

4. 東京新聞と読売新聞に滝山城跡に関する記事が掲載されました。

平成26年2月13日付東京新聞に八王子市が滝山城跡に新駐車場を建設する記事が、また平成26年3月25日付読売新聞に西山理事長の言葉と本会の活動が紹介されました。

昨年の「滝山観光検討会」での議事を経て、滝山城跡周辺が歴史観光の史跡として注目されています。



読売新聞(平成26年3月25日) 多摩版「地域」欄より(紙面の都合上記事の一部を省略して掲載)

『120歳の多摩 観光編 住民が育てた観光名所』

都心に近い多摩地区には戦前から、多くの行楽客が訪れていた。魅力ある自然や息づく歴史が、そのまま人々を引き付けてきた一方で、地域の住民が自らの手で育んできた観光資源も多い。

戦国時代、北条氏照が武田信玄の遠征軍を退けた名城「滝山城」。八王子市北部の多摩川を見下ろす山上にあるこの城跡一帯は現在、都立滝山公園となり、「五千本桜」と呼ばれる桜の名所として親しまれている。

桜は1971年、日本さくらの会から八王子市に苗木の提供が持ちかけられた際、地元から申し出て、薪の採取などに使われていた共有林に植樹した。すでに石油やガスが普及し、薪はいらなくなっていた。沢井勝巳さん（85）（八王子市高月町）は「共有林は管理の手間がかかるから、観光振興につながる桜の植樹は渡りに船だったのでは」と推しはかる。

植樹の際、活躍したのが、当時、沢井さんが分団長を務めていた消防団だ。伐採した雑木は斜面が急で搬出できず、その場で燃やされることになり、約120人の分団員が総出で、消火栓からポンプ6台で中継して放水し、延焼を防いだ。

木片を踏んでゴム長靴に穴が開いたり、煙のせいで近くの喫茶店から苦情がでたり。それでも1日がかりで無事に焼き終え、「さすが消防団」とたたえられた喜びを沢井さんは昨日のことのように語る。

住民らは戦前にぎわいを取り戻したいと思っていた。滝山城跡は江戸時代から史跡として知られ、大正～昭和初期には都心のハイキング客が詰めかけた。地元も観光客誘致に力を入れ、本丸跡には今も、当時の加住村役場に勤め、遊歩道や休憩所の整備に尽力した沢井尺水の功績をたたえる碑がある。(中略)

多摩地区でも観光地と言えば、明治以前から山岳信仰の靈場として栄えた高尾山（八王子市）や御岳山（青梅市）など、魅力的な歴史や自然によって人気を集める場所が有名だ。

一方、滝山城跡のように、住民が積極的に関わって育んできた行楽地も少なくない。

滝山城跡では今、2008年に設立されたNPO法人「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」が手弁当で、城跡の半分を占める民有地の草刈りを続けている。

理事長の西山富保さん（78）によると当初、都の管理が及ばない民有地は「ねずみも歩けない藪」だった。身長を超す篠竹を切り開いたことで、堀や曲輪などの遺構がはっきりと見て取れるようになった。山城の遺構を学ぶ格好の教材となっており、作業中に未知の遺構が見つかることもあるという。

西山さんは胸を張る。「見学者が立派な城跡だと喜んでくれるのがうれしい。私達には、貴重な遺跡を守っている誇りがある。」(土河嶋昇)

東京新聞（平成26年2月13日）多摩版「地域の情報」欄より（記事全文を掲載）

『八王子市今年の目玉 ‘14予算案 滝山城跡に新駐車場 歴史観光のPR強化へ』

八王子市は、国史跡「滝山城跡」のそばに新たに滝山観光駐車場を整備する。近くに常設の駐車場がなく、観光に不便だった問題の解消策。石森孝志市長は「城跡は大事な観光資源」と強調し、国史跡「八王子城跡」と合わせて整備を進める考えを示した。（福岡範行）

新駐車場は九百七十四平方メートルで、約三十台分。滝山城跡南側の滝山街道沿いに紅葉の時期をめどに設ける。整備運営費用は八千百六十万円で、一般会計当初予算案に計上した。

城跡を含む公園はサクラの名所で、花見の時期は臨時駐車場が設けられたが、他の季節はバスを使わなくてはいけなかった。

滝山城跡は戦国時代の山城跡で、堀などの遺構が形良く残っている。新年度には地元住民を中心とした検討組織を立ち上げ、地域の道の駅や農作物、休耕田の活用を交えた滝山観光計画を練る。

当初予算案には、JR八王子駅北西の一部を石畳式にするなどの中心市街地総合再生事業も盛り込んだ。一般会計の総額は千九百億円（前年度比1.8%増）で過去二番目の規模になった。

5. 平成26年度活動計画(暫定版)が出来ました。

平成26年度活動計画書(暫定版)が出来上がりしました。4月から9月までの活動予定を下記に掲載します。

第3日曜日の定例活動の他に、第5日曜日に「準・定例活動」を新しく設定し、また10月以降に「八王子・3名城めぐり」として、浄福寺城、滝山城、八王子城のガイドを行う予定になっていますので、これまで12月初めに開催していた「歴史講演会」を9月に開催するなど、前年までとは内容や時期が異なっている行事があります。また、5月11日(日)の第1回城郭学習会や5月18日(日)の平成26年度通常総会など、会員の皆様に関係する行事もありますので、ご確認をお願いします。

なお、活動計画書は暫定版のため、都合により内容が変更になる場合があります。活動に参加される際は事前にご確認をいただくようお願いします。

月 日	時 間	活 動 内 容	適 要
4月 5日(土)	10時～15時	「滝山城跡さくらまつり」の協力・参加	主催 滝山城跡文化協会他
4月20日(日)	9時30分～15時	定例活動(景観回復)	小宮曲輪南・竹林(1)
5月11日(日)	8時～18時	第1回 城郭学習会(会員限定)	秩父の寺の城郭(3カ所)
5月17日(土)	10時～14時頃	「春の滝山城跡散策ツアー」のガイド	主催 道の駅八王子滝山他
5月18日(日)	9時30分～15時	定例活動(景観回復)	小宮曲輪南・竹林(2)
5月18日(日)	18時30分～ 20時～	平成26年度 通常総会 平成26年度 第3回 理事会	会場 加住市民センター・ 多目的室
6月15日(日)	9時30分～15時	定例活動(景観維持)	千畳敷北・腰曲輪(1)
6月29日(日)	9時30分～15時	準・定例活動(景観回復)	小宮曲輪南・竹林(3)
7月20日(日)	9時30分～15時	定例活動(景観維持)	本丸南・腰曲輪～弁天池
8月17日(日)	9時30分～15時	定例活動(景観維持)	弁天池とその周辺
8月31日(日)	9時30分～15時	準・定例活動(景観回復)	小宮曲輪南・竹林(4)
9月21日(日)	9時30分～15時	定例活動(景観維持)	大池堤防とその周辺
9月28日(日)	13時30分～16時40分	第10回 歴史講演会	会場 加住市民センター(予定)
9月28日(日)	17時30分～	暑気払い兼懇親会(会員限定)	会場 未定

◎定例活動日（毎月第3日曜日）が雨天の場合は、翌週の第4日曜日に順延する。

◎準・定例活動が雨天の場合は、中止する。

6. 会報「滝山だより」の発行を年2回に変更させていただきます。

会報「滝山だより」はこれまで年4回（7月、11月、2月、5月）発行していましたが、平成26年度より、11月と5月の年2回の発行に変更させていただきます。

NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会 会報 「滝山だより」 第11号

発行日 平成26年5月1日

発行者 NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会 理事長 西山富保

〒192-0011 東京都八王子市滝山町2-503-1 (連絡先 携帯 090-4390-7831)

編集 高橋 努

滝山城跡群・自然と歴史を守る会 ホームページ <http://takiyamajo.com/>